



日野市環境情報センター(愛称かわせみ館)は環境に関する情報を収集・分析・発信するために、2005年7月に市民・事業者・学校・行政の協働で開設されました。

雑木林ボランティア活動に参加しませんか

日野市雑木林ボランティア講座

日野市には、市民・行政の長年の努力で、ある程度の雑木林が残されています。しかしこれらの緑は、僅か50年の間に、人々の暮らしから離れ、放置された暗い林になってしまいました。昔のような明るい健全な雑木林に管理し、次の世代に引き継ぐため、専門的な知識や技術を習得した雑木林ボランティアを育成することが、どうしても必要になってきました。そこで市民団体と行政が力をあわせ平成17年度から「日野市雑木林ボランティア講座」をスタートすることになりました。

この講座は、雑木林の講義を始め、手道具・刈払い機・チェーンソーの実習など雑木林の管理方法を1年間(10回)にわたって習得するものです。既にこの講座の卒業生を中心に、「南丘雑木林を愛する会」など3団体が立ち上がり、又既存の団体へもボランティアを送り込むことが出来つつあります。今後は、日野市の緑を守るため、講座卒業生全員がいずれかの団体に所属し、雑木林の中で元気な汗をかいてほしいものです。

「第八期雑木林ボランティア講座」の申し込みが始まりました。

開催日 平成24年5月～平成25年3月までの毎月第三土曜日(全10回)

申し込み 日野市環境情報センターへハガキかFAXで、〆切 4月10日、定員 30名



チェーンソーの実習



虫媒花の講義

環境保全に取り組んでいる団体紹介

4 倉沢里山を愛する会

日野市百草の倉沢地区は、懐かしい里山風景と豊かな緑が残る市民の貴重な財産です。「倉沢里山を愛する会」は、この日野市最後の里山を現在の姿のまま次の世代に手渡すため2000年から活動を始め、その後日野市とパートナーシップ協定を結んで、雑木林の下草刈りや落ち葉掃きなど緑地の維持管理や、市民農園「アリスの丘ファーム」の運営など、地域の環境保全やエコ循環を実践しながら緑を楽しみ、また新しい地域コミュニティーとしても楽しい雰囲気の中で活動を広げてきました。活動のフィールドもこの数年で緑地・ファームとも大きく広がっています。「楽しいから・気持ちが良いから参加する」が基本です。

作業の後は里山の産物も使った楽しいアウトドア料理で舌ツツミ。毎回50名ほどが活動に参加しています。緑地保全に関心のある方、畑をやってみたい方、アウトドアの好きな方、新しい仲間と一緒に緑を楽しみましょう。

連絡先：事務局(田村) Tel/Fax (042)592-5859

Email: info@alice-fm.info <http://www.alice-fm.info>



作業の様子



作業後の食事会



環境情報センターの取り組み紹介

市民環境大学生募集

本講座は地球環境を正しく知ることを通して地球規模や身近な環境をみんなで考えていきます。楽しく充実した意見交換も行われます。

- ・担当 小倉紀雄氏(東京農工大学名誉教授)
 - ・開催期間 前期 5月10日～7月12日(10回)
後期 10月4日～12月5日(10回)
 - ・開催時間 毎週木曜日 午前10時～12時
 - ・場所 日野市環境情報センター2F 会議室
 - ・対象 日野市在住または在勤者
 - ・定員 20名(先着順) 受講料 無料
 - ・申込期間 平成24年4月21日(土)まで
- かわせみ館へ電話・FAXで(裏面参照)**

前期講義

- 1 地球環境問題とは
- 2 物質循環と人間活動の影響
- 3 地球温暖化と温室効果ガス
- 4 地球温暖化の影響と対策
- 5 ヒートアイランド現象
- 6 水の特性と重要性
- 7 水循環と人間活動の影響
- 8 日野市の川・用水・湧水
- 9 水資源と有効利用
- 10 水質汚染と対策

後期講義

- 1 雨の役割
- 2 酸性雨とは
- 3 酸性雨の生態系への影響
- 4 オゾン層の破壊
- 5 オゾン層破壊の影響と対策
- 6 化学物質による環境汚染
- 7 生物多様性の保全と外来種
- 8 森林や里山の役割
- 9 日野市の緑
- 10 地球環境と身近な環境

エコキング(日野市版一日環境家計簿)を全小学校で実施

エコキング集計結果と児童の取り組み

12月10日(土)に、市内小学校の児童の66% 6,300人がエコキング(一日環境家計簿)にチャレンジしました。今年は、3.11東日本大震災による原発事故の影響等で、冬場の電力不足も表面化するなど節電に対する必要性が今まで以上に高まっています。そうした中で行われた集計結果で感じたことをあげさせていただきます。

「テレビをみる時間をいつもより30分少なくした」「家族がひとつの部屋で過ごした」という設問に対する実施率が低いように感じます。子どもさんだけでは難しい設問ですが、家族がひとつの部屋で過ごす時間が増えれば節電効果が大きくなると共に会話、コミュニケーションをすることが「絆」も強めることになると思います。ご家族の協力よろしくをお願いします。

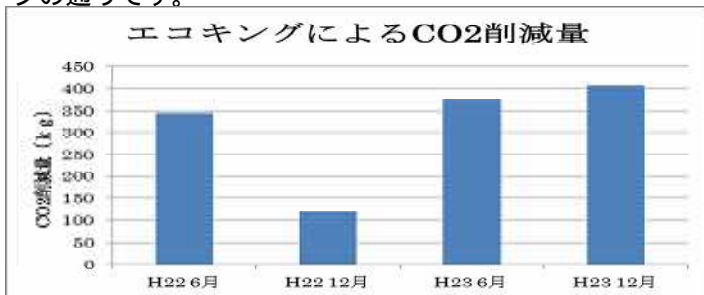
「家の人と買い物をするとき、エコバックを使う」の設問には、低学年の実施率が85%に対し、高学年が68%と差があるのが気になります。レジ袋は、毎年、日本全体で300億枚使われています。300億枚のレジ袋を作るには、ドラム缶200リットルで300万本もの石油を使います。また、石油で作られたレジ袋は、使い終わった後はゴミになります。万が一、エコバックを忘れてレジ袋をもらった時は、一度で捨てないで何度も使いましょう。

自由に記載してもらった設問では「明るい時は電気を使わない、昼間は太陽光で過ごす」が多く書かれて、電気の無駄をなくそうという気持ちが表れていました。一日だけではなく、毎日チャレンジして節電(エコ)していただければと思います。環境基本計画推進会議 CO₂ グループ 萩原 達雄



平山小学校でのエコキングの取組紹介

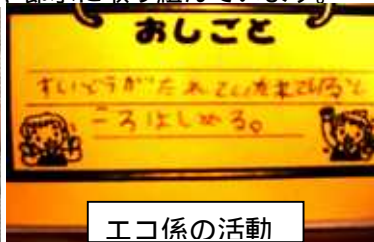
平山小学校では年間2回のエコキングに取り組んでいます。平成23年度は前年の反省を生かして、全児童に、CO₂削減を呼びかけ意識を高めました。その成果が、下のグラフの通りです。



子供達が、主体的に節電や節水に取り組んでいます。



節電スイッチ



エコ系の活動

絵画展「エコな暮らし」入賞作品紹介

エコの力

休車日を作ろう



夢が丘小2年 佐藤瑛典さん



七生緑小5年 中村有稀さん

** 行事・イベントのお知らせ **

日野の野鳥写真展

- ・日時: 5月1日(火)~13日(日)
 - ・内容: 市内で観察できる野鳥写真を展示します。
 - ・会場: 環境情報センター(かわせみ館)
- ### みんなの環境セミナー 日野の野鳥
- ・日時: 5月13日(日) 10時~12時
 - ・内容: 日野の野鳥について解説します。
 - ・会場: 環境情報センター(かわせみ館)
 - ・講師: 日野の自然を守る会 金子 凱彦氏
- ### みんなの環境セミナー 緑のカーテンづくり
- ・日時: 5月12日(土)午後2時~4時
 - ・場所: 環境情報センター(かわせみ館)
 - ・講師: 明星大学教授 木下 瑞夫氏
 - ・内容: ゴーヤによる緑のカーテンづくりとその効果について学びます。
 - ・定員: 20名(申込 先着順)
 - ・申込: 5月8日までかわせみ館へ電話・FAXで



発行: 日野市環境情報センター

〒191-0011 東京都日野市日野本町1-6-3

042-581-1164 (FAX 兼)

Eメール kankyo@m2.hinocatv.ne.jp

URL <http://www1.hinocatv.ne.jp/kankyo/>